

# 北海道国際理解教育研究協議会 会報

第 9 号  
代 表 千葉 福男  
事務局長 磯貝 登  
事務局 中村 保  
広報部 萩田 和雄  
発行 1989. 2. 15

## 牽引的推進力になろう

会長 千葉 福 男

新しい平成元年を迎え、平素来のご支援・ご協力に心から感謝申し上げますと共に、今後も引き続きまして、本会の一層の充実発展の為に、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本会が発足いたしましてから、今年で13年目になりますが、一昨年、発足10周年を機に、北海道海外子女教育教師の会から、北海道国際理解教育研究協議会へと、名称と機構改正を行いました。この事は、国際理解教育に対する全国・全道的要請が高まり、全道ぐるみでそれに応える必然性や必要性を感じたからに外なりません。貴重な海外経験を持たれた先生方もその意欲とは無関係にひとりの力では、その実践や成果には、限界があります。今や、「国際理解教育をどのように推進したら良いのか。」の課題は、帰国教師の専売特許ではなくなって、全道教育界挙げて取り組まなければならない重要にして今日的課題にふくらんできたのです。

本会の会員は、海外帰りの戦友会員から脱皮して、北海道国際理解教育発展の牽引的推進力にならねばならないと思うのです。得難い経験や資料の全てを、北海道の大きな広場に提供して、役立つ方途を考えていくことが、派遣帰国教師の我々に求められ、期待されているのだと考えようではありませんか。

最近帰国された方の中には、本会の度重なる連絡や案内にも耳を貸さず、せっかく持ち帰られた国際的識見や資料の数々を、がちりしまいこんでしまう人も多く、誠に残念に思えてなりません。

『俺がやらねば誰がやるか』の気構えを持って、本会の発展に参加ご協力いただきますよう、お願い申し上げる次第でございます。

## 第10回北海道国際理解教育研究大会

### 札幌大会の概要決定

- \*日時 1989年11月10日(金)～11月11日(土)  
\*会場 札幌市立八軒西小学校を主会場  
\*内容 小・中・高の公開授業  
分科会・記念講演・交流会(レセプション)

- \*札幌支部を中心に石狩支部の支援・協力体制のもとで臨む。  
後志や空知支部へも応援を依頼する。  
\*10周年の記念すべき大会にふさわしいものとする。

## 各支部だより

---

### 檜山国際理解教育研究会

\*1989年2月8日 檜山国際理解・国際交流研究会 瀬棚町

内容

1. 海外教育視察報告
2. パネルディスカッション  
テーマ『誰にでもできる国際理解教育』
3. 檜山教育局長も参加しての懇親会

\*1989年2月28日 檜山国際理解教育研究会 江差町

1. 授業研究(江差小)
2. 国際理解教育の実態調査の中間報告  
管内全小学6年と中学2年対象
3. 海外教育視察報告

## 石狩国際理解教育研究協議会

### \*事務局体制確立

会長 藤川 正吾 (千歳東小学校長)  
副会長 大塚 広二 (江別大麻東小教頭)  
事務局 遠藤 優 (千歳北斗中)  
板垣 修 (千歳日の出小)

## 空知国際理解教育研究協議会

### \*長沼南中で授業

東岡正宏先生、大津外志男先生、高野英弥先生  
各国の授業や部活動、夏休みの過ごし方、日常生活などをスライドを  
使って展開。

## 上川国際理解教育研究協議会

『たくましく世界に生きる子供の育成をめざして』をテーマに1988年10月  
28日旭川市立神楽岡小学校で開催されました。授業研究の他、『ロング氏か  
らみた日本』など。

## お願い

海外から持ち帰られた国際理解教育関係の資料を是非、道立教育研究所へ寄  
贈送付してください。まとめて資料集を編成し、道内各校での指導資料に生か  
したいと思えます。(学校要覧・研究紀要・派遣国の政治、文化資料等々)

北海道立教育研究所の住所は、次の通りです。

069 江別市文京台東町42  
北海道立教育研究所資料室 御中  
TEL 011-386-4511

# 網走管内国際理解教育研究会

「たくましく世界に生きる子供の育成をめざして」を大会主題にして、第1回の研究大会を2月9日(木)に、紋別市清滑小学校で実施。

- ・授業公開(小2年)「ジェフさんと遊ぼう」
- ・実践交流
  - 1. 国際理解教育のカリキュラムの編成
  - 2. 国際理解教育推進の方策
  - 3. 国際理解教育を深める教育の工夫
- ・講演「国際交流の体験を通して」

## 理事会・総会に向けて

事務局では、3月9日(木)の激励会の日に行われる、理事会・総会に向けての準備をしています。来年度は、おおよそ以下の事業を計画しています、そのこと及び本会の運営についてのご意見や要望がありましたら事務局(中村)まで葉書等でお寄せ下さい。

### 事業内容の予定

1. 北海道国際理解研究大会、10周年記念大会(札幌市)
2. 北海道国際理解教育資料コーナー(道研内)
3. 10周年大会を記念しての「国際理解教育実践の手引き」の作成
4. 会員名簿の変更追補冊子の発行
5. 会報の発行(年、4回)
6. 各支部の研究実践等の情報交流

### あ と が き

今年度最後の会報をお届けします。いろいろな関係で、昨年より発行回数が少なくて申し訳ありません。来年からは、年4回、それぞれ特集内容を組んで編集したいと思います。

今回は、各支部の研究実践の様子を紹介しました。来年の活動の参考にしたいと思っております。桧山は、2月に集中して2度の研究会を意欲的に実施されたこと、他の支部には大いなる刺激になったと思っております。

10周年記念大会の成功を祈って、多くの参加を期待しています。